

耐暑性健康増進作物導入促進事業における海外種苗探索 ～台湾編～

1 農業の概要

台湾では、豊富な降水量、温暖な気候等の恵まれた自然条件下で農業が営まれており、1戸当たりの耕地面積は1.17haである。

平地では二毛作の稲作のほか、サトウキビやカンショ、ラッカセイなどが栽培されており、バナナ、パイナップル、カンキツ類などの熱帯果樹も多い。野菜の栽培も盛んで、キャベツ、ネギ、ハクサイ、ダイコン、ニンジンなどの生産量が多い。地域別には北部は少なく、中南部が中心である。季節的には11月～4月に生産が集中し、夏季は台風シーズンであることから少ない。

2 耐暑性作物の栽培状況等



アマランサスの栽培状況



エンサイの栽培状況
(収穫の大きさに達したら、根を付けた状態で株ごと収穫する)



市場での野菜の販売の様子(白ニガウリ、カリフラワー、花ニラ、ピーマン等)



市場での野菜の販売の様子(ヘチマ、ナス、セロリ、ネギ等)

3 耐暑性野菜の食べ方



野菜を多く使用した料理



カイランとシイタケの炒め物

4 その他

東アジアで栽培される野菜種子の8割が台湾で生産されている。